

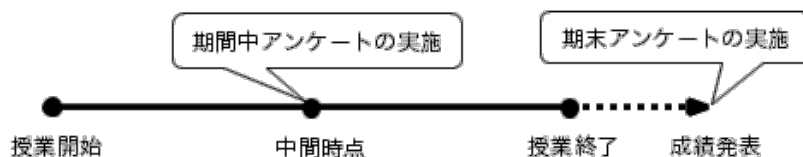
## 2018年度 前期授業 経済学部「授業評価アンケート」報告書

経済学部教務委員

### 1. 2018年度授業評価アンケートの実施概要と重点課題

#### (1) 実施概要

経済学部では、各授業において授業改善に役立てるために授業評価アンケートを期間中と期末の2回実施している。



期間中アンケート：授業期間中の中間時点で授業担当教員が実施し、開講期間中の授業方法の改善を目的としている。【資料1参照】

期末アンケート：授業終了後、成績発表時に nfu.jp システムにて実施し、次年度以降の授業改善に役立てることを目的にしている。【資料2参照】

担当教員は、授業期間中アンケートと期末アンケートの結果を踏まえて「授業評価アンケート結果報告書」を作成し、授業方法の改善や内容の検討を行っている。担当教員が作成した「授業評価アンケート結果報告書」は、学事課にて学生に開示、閲覧できるようにしている。

#### (2) 2018年度授業評価アンケートの重点課題

2018年度は、①学生の総学修時間を増加させる、②学習支援を必要とする学生への対応、③経済学部ディプロマ・ポリシーを踏まえた教育の実践、の3点を重点課題とした。さらにこれらに加え、全学的な課題である④シラバス（科目概要）に合致した授業進行についても課題として取り上げる。

### 2. 本報告書の対象科目

本報告書の対象科目は表1の10科目である。「経済学」、「経済経営のための数学」の2科目は必修科目である。「経営学」、「財政学」、「金融論」、「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」、「会計学」、「法律学」、「社会政策」、の8科目は、これらの中から4科目を選択して修得することが卒業条件になる必須選択科目である。これら10科目は、いわば学部のコア的な専門科目として位置づけられている。

表1 本報告書の対象科目と履修・回答者数

2018年度【前期開講科目】		2018年度【後期・通年開講科目】	
1	経済経営のための数学	1	財政学
2	経済学	2	ミクロ経済学
3	経営学	3	会計学
4	金融論	4	社会政策
5	マクロ経済学		
6	法律学		

### 3. 2018 年度授業評価アンケート回答結果分析

前述したように、2018 年度学部授業改善の 3 つの重点課題と全学的な課題を教員の報告書と期末アンケート結果に基づきまとめた。

#### <3 つの重点課題>

- (1) 学生の総学修時間を増加させる⇒(期末アンケート 質問 6, 8)
- (2) 学習支援を必要とする学生への対応⇒(期末アンケート 質問 5)
- (3) 経済学部ディプロマ・ポリシーを踏まえた教育の実践⇒(教員の報告書より)

#### <全学的な課題>

- (4) シラバス(科目概要)に合致した授業進行について⇒(期末アンケート 質問 10)

また、上述したように期末アンケートは成績発表時に nfu.jp システムにて実施したが、履修学生の中には、成績発表時に期末アンケートに回答していない学生がいた。これらの学生は、成績発表からかなりの時間をおいて成績確認を行っていると考えられるため、本報告書の分析では対象外にしている。各科目の履修者と回答者の内訳は表 2 のとおりである。なお、「財政学」、「ミクロ経済学」、「社会政策」は 2018 年度後期開講科目であるので、本報告では分析の対象外としている。

表 2 本報告書の対象科目

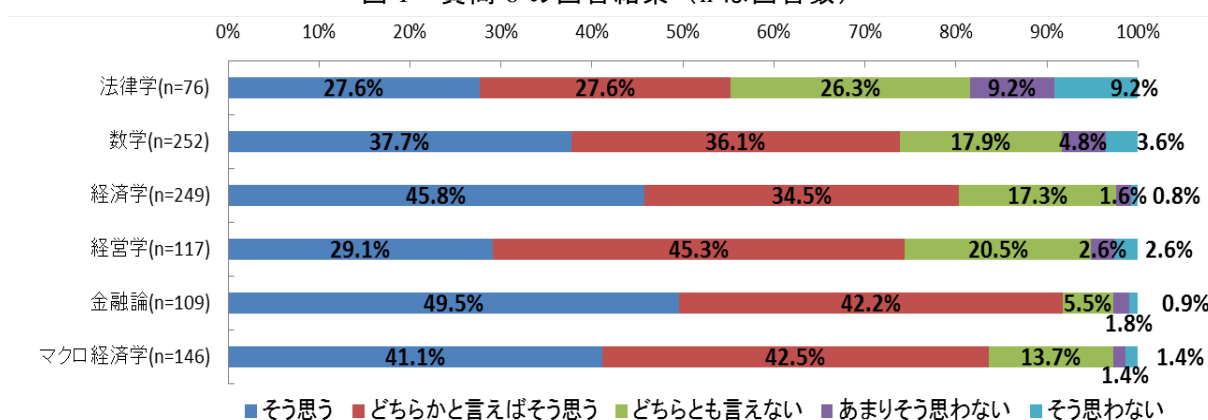
2018 年度【前期開講科目】				2018 年度【後期・通年開講科目】			
科目名	履修者数	回答数	未回答数		履修者数	回答数	未回答数
1 経済経営のための数学	265	252	13	1 財政学	—	—	—
2 経済学	264	249	15	2 ミクロ経済学	—	—	—
3 経営学	121	117	4	3 会計学	—	—	—
4 金融論	115	109	6	4 社会政策	—	—	—
5 マクロ経済学	159	146	13				
6 法律学	82	76	6				

(1) 学生の総学修時間を増加させる

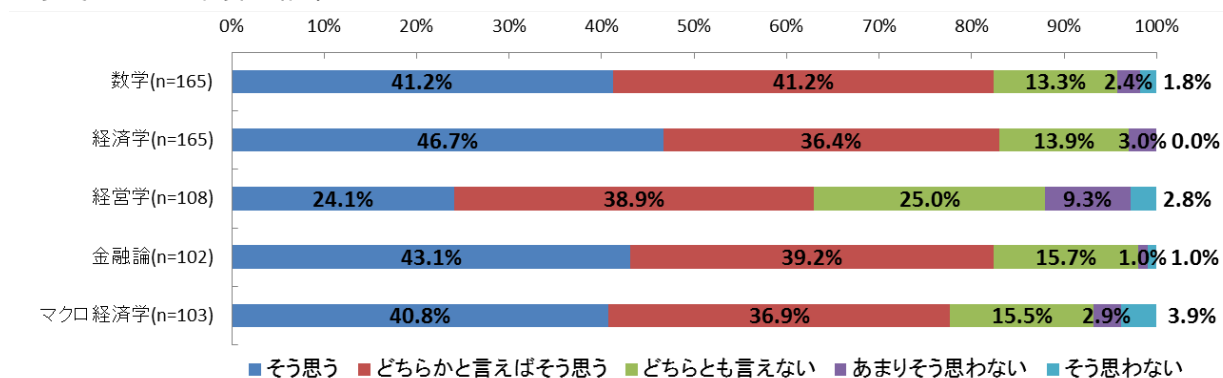
期末アンケート

【質問 6】宿題・予習・復習をするような授業構成と教材（テキスト・レジュメなど）になっていましたか。

図 1 質問 6 の回答結果（n は回答数）



<参考 2017 年度の結果>



<アンケートの回答結果>

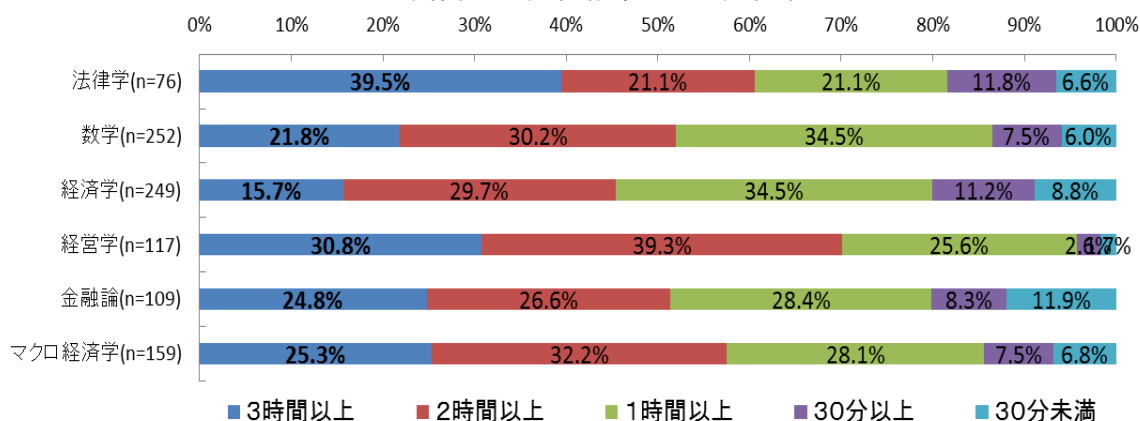
どの科目も学生の5割以上が、「宿題・予習・復習をするような授業構成と教材（テキスト・レジュメなど）になっていると思う、どちらかといえばそう思う。」という肯定的な回答している。

<担当教員の取り組み>

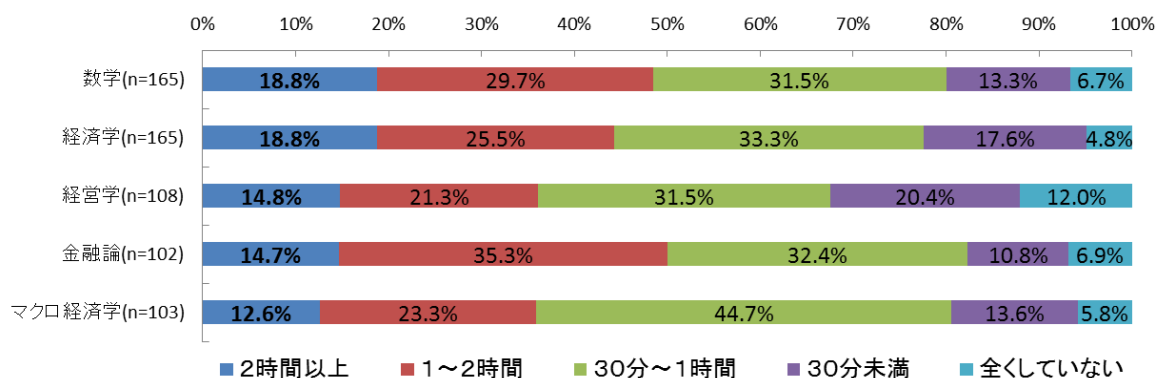
- ・宿題プリントの提出を10回ほど求めたこと、振り返りテストを行ったことなどから授業外での学習はある程度行わなければいけない授業運営にはなっているはずである。
- ・授業開始時の約5分、前回の授業内容を確認するための問題を解かせた（復習をして教室に来させるため）。また、授業の終了時点でその日の授業内容に関する問題を出題し、同じプリントに解答を記入させ、提出させた。

【質問 8】 この科目について、1 回の授業時間以外に予習や復習のためにどの程度勉強しましたか。

図 2 質問 8 の回答結果 (n は回答数)



<参考 2017 年度の結果>



<アンケートの回答結果>

2018 年度から総学修時間の選択肢を変更している。どの科目も学生のほぼ 8 割以上が、1 時間以上は授業外で学修していると回答している。昨年度と比較すると、1 時間以上を予習、復習などの学修にあてた学生は増加しているため、学生の総学修時間を増加させることについて改善した。

<担当教員の取り組み>

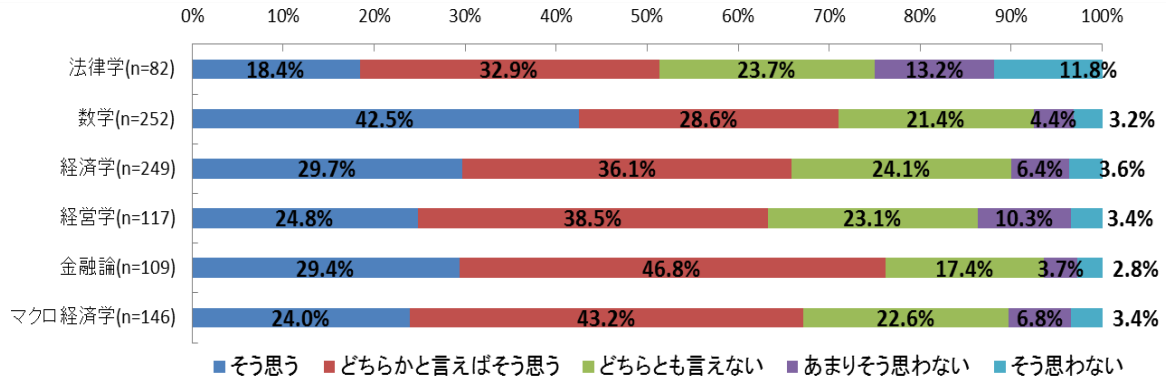
- ・多少高度な内容の宿題を課した。
- ・最低限必要な基礎的知識に関する問題を中心とする宿題を精選して提示したが、受講生にとって適切な内容と水準だったか、見直しが必要と考えている。

(2) 学習支援を必要とする学生への対応

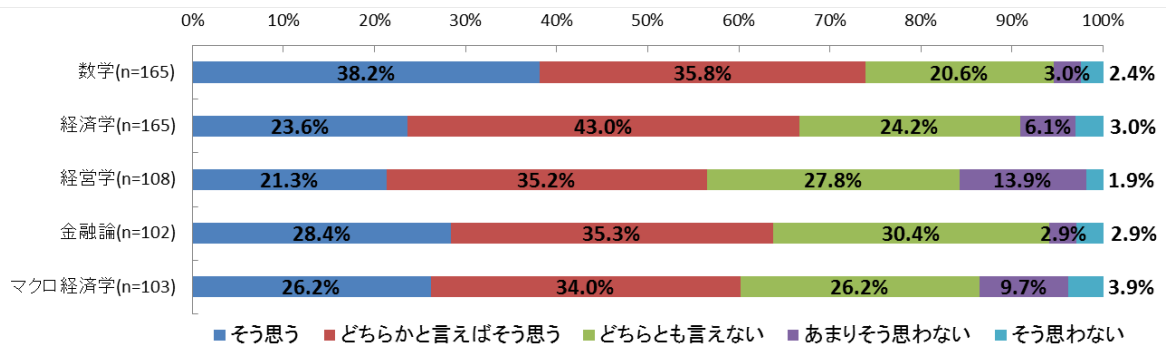
期末アンケート【質問5】

理解できなかった点を自分で調べたり教員に質問したりしましたか。(あてはまるものを1つ選んで下さい。)

図3 質問5の回答結果 (nは回答数)



<参考 2017年度の結果>



<アンケートの回答結果>

どの科目も学生の半数以上が、「理解できなかった点を自分で調べたり教員に質問したりした」と肯定的な回答をしている。また、「そう思わない」と否定的な回答をした学生の割合は非常に少なかった。昨年度との比較では、肯定的な回答をした学生の割合が低下した科目もみられるが、一方で上昇した科目もあり、学習支援を必要とする学生への対応には大きな問題はみられない。

<担当教員の取り組み>

- ・高校における数学の到達段階が異なるため、質問や疑問のレベル・内容が異なるので、それらにどのように対応するかが今後の課題である。
- ・理解のために行動することが得になるということが実感できるような資料の作り方やスライドの内容などの工夫ができないかを考えてみたい。
- ・毎回の授業で提出させる用紙に書かれた質問に対しては、回答を記入したり、自分で調べてくださいなどを書いたりして返却している。

(3) 経済学部ディプロマ・ポリシーを踏まえた教育の実践

・教員が提出する「授業評価アンケート報告書」に学部ディプロマ・ポリシー（以下、DP と略す）を踏まえた教育の実践を回答してもらった。この質問は、DP に則した授業を行っているかどうかを確認し、それに則していなかった場合には、授業内容を改善させるか、あるいは授業に対応する DP を再検討するかなど、学部カリキュラムの適切な運営を担保するものである。

・DP を実現している授業内容について具体的な授業内容を記述している回答が多かったことから、担当教員が、自らの授業内容と整合する DP を選び、実際に実践している。

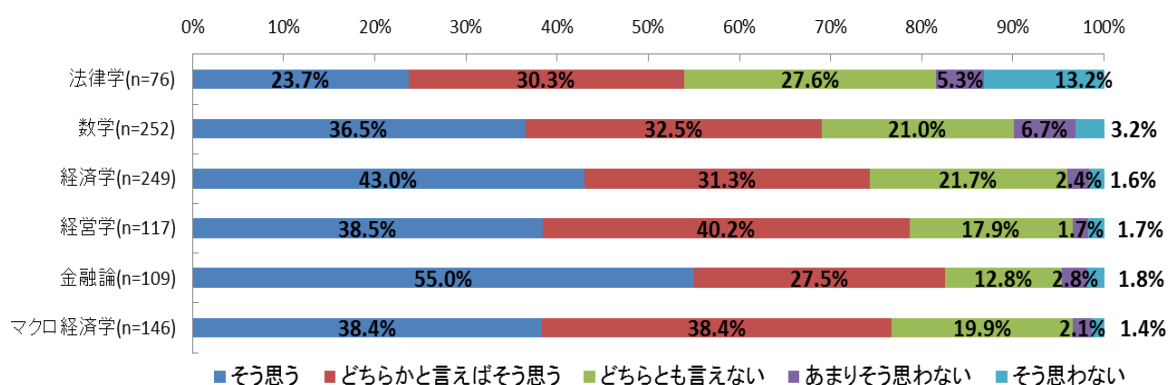
(4) シラバス（科目概要）に合致した授業進行について

全学的な課題である「シラバス（科目概要）に合致した授業進行について」の分析を行った。

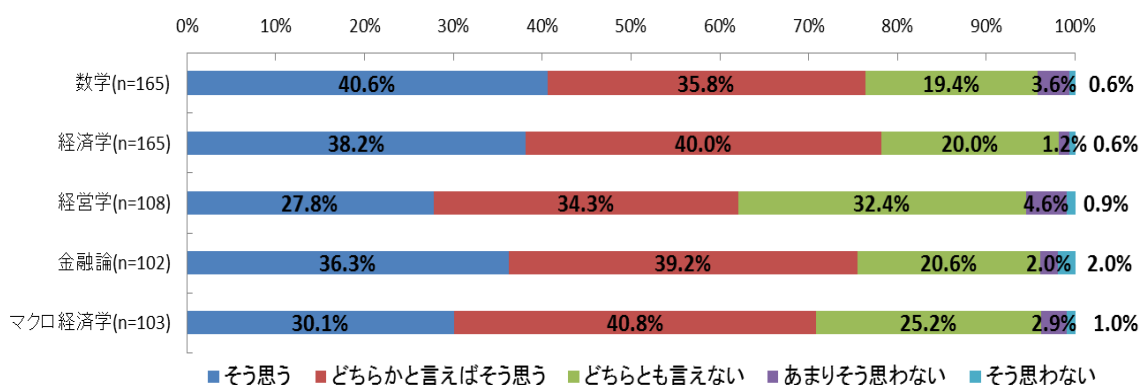
期末アンケート【質問 10】

授業はシラバス通りにすすみましたか。あてはまるものを 1 つ選んでください。

図 4 質問 10 の回答結果（n は回答数）



<参考 2017 年度の結果>



<アンケートの回答結果>

シラバス通りに授業が進行したかについては、1 科目を除いて学生の 6 割以上が、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と肯定的な回答をしている。また、「そう思わない」と否定的な回答をした学生の割合は非常に少なかった。

<担当教員の取り組み>

- ・クラスのレベルに応じて予定よりも高度な内容を扱ったため、シラバスに合致した進行はできなかった。
- ・前半の要点に多くの時間を割いた結果、後半のペースがやや早まった。宿題との併用を図るなど、講義運営の見直しが必要である。

## 5. 今後に向けて

この報告書では、2018年度の学部授業改善の3つの重点課題と全学的な課題について、教員の報告書と期末アンケート結果に基づきまとめた。今後の検討課題を以下にまとめておく。

### ①学生の総学修時間を増加させる

どの授業もほぼ宿題・予習・復習をするような授業構成と教材（テキスト・レジュメなど）となっている。そのため、学生は予習や復習などに取り組むことで総学修時間を確保する状況になっている。

一方で、授業内容への理解力が比較的高い学生が少なからずいることから、授業内容レベルについて検討し、かつ、そのレベルに応じた予習や復習の難易度をどの水準に設定するのが課題としてあげられる。

### ②学習支援を必要とする学生への対応

①でも述べたが、授業内容への理解力が比較的高い学生が少なからずいることから、授業内容レベルをどの水準に設定するのが課題になっている。特に習熟度別のクラス編成をしている「経済経営のための数学」は顕著である。

一方で、授業内容の理解をより深めることへのモチベーションを高める工夫も課題としており、単純に宿題の量を増やすだけではなく、授業内容の理解を自ら深めるような資料作成、予習や復習の宿題の内容にも検討することが課題である。

しかしながら、学生の学習に対する姿勢は、教員の工夫もさることながら、学生本人の心がけに帰することが多い。したがって、学生本人が意識を変えるためには、学習環境や学習しなければならないという雰囲気醸成することが必要である。ただし、これは直ぐに効果が出るものではなく、継続した取り組みが必要である。

### ③経済学部ディプロマ・ポリシーを踏まえた教育の実践

DPを実現している授業内容について、どの教員も具体的に授業内容とDPとの関連について記述しており、心がけている。

### ④シラバス（科目概要）に合致した授業進行について

シラバス通りに授業がすすんだのかについては、学生からの回答結果からは、ほぼシラバス通りに進んだことがわかる。ただし、前述したように、学生の知識や理解力から、当初想定していた授業内容や範囲を変更した方が良いという判断から、シラバスに記載されたレベルを超えた授業進行をした科目があった。これについては、あらかじめ学生の知識や理解力にある程度の範囲を含ませたシラバス作成が必要である。

以上

【資料 1】 2018 年度 授業期間中アンケート（担当教員が実施、回収、集計を行う）

**経済学部 授業評価 中間アンケート**

記入日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

科目名 \_\_\_\_\_

質問 1 教員の話し方や声は聞き取りやすいですか。5段階評価であてはまるものに1つ○をつけてください。

聞き取りやすい 5 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 1 \_\_\_\_\_  
ふつう 聞き取りにくい

質問 2 板書やパワーポイントの文字の大きさは見やすいですか。5段階評価であてはまるものに1つ○をつけてください。

見やすい 5 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 1 \_\_\_\_\_  
ふつう 見づらい

質問 3 授業で配布したプリントなどの資料はわかりやすいですか。5段階評価であてはまるものに1つ○をつけてください。

わかりやすい 5 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 1 \_\_\_\_\_  
ふつう わかりにくい

質問 4 科目概要を確認するなどして、この科目の目的・内容・評価方法を把握していますか。5段階評価であてはまるものに1つ○をつけてください。

把握している 5 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 1 \_\_\_\_\_  
ふつう 把握していない

質問 5 授業内容と関係のないことをせずに集中して授業を受けていますか。5段階評価であてはまるものに1つ○をつけてください。

集中して受けている 5 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 1 \_\_\_\_\_  
ふつう 集中できない

質問 6 この科目について、1回の授業時間以外に予習や復習のためにどの程度勉強しましたか。5段階評価であてはまるものに1つ○をつけてください。

例えば、1回の授業あたり、以下のように予習や復習をした場合なら、3時間勉強したことになり、5を選択します。

- ・レジュメやテキストを読んだり、見直したりを30分ぐらいした
- ・授業で課された宿題を40分ぐらいした。
- ・授業でわからない事柄をwebで検索したり、図書館で調べたりすることを25分ぐらいした。
- ・友人と授業の内容を話し合ったり、教え合ったりすることを25分ぐらいした。
- ・課題レポートの作成や、定期試験などの勉強を60分ぐらいした。

3時間以上 2時間以上 1時間以上 30分以上 30分未満  
5 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 1 \_\_\_\_\_

質問 7 授業の内容を理解できていますか。5段階評価であてはまるものに1つ○をつけてください。

理解できている 5 \_\_\_\_\_ 4 \_\_\_\_\_ 3 \_\_\_\_\_ 2 \_\_\_\_\_ 1 \_\_\_\_\_  
ふつう 理解できていない

質問 8 授業に関する感想や要望を記入してください（自由記述）。

以上



【資料2】 2018年度 期末アンケート (nfu.jp システムにて実施)

経済学部 授業評価 期末アンケート ※nfu.jp で実施

質問1 あなたはこの授業にがんばって取り組みましたか。あてはまるものを1つ選んで下さい。

そう思う      どちらかと言えばそう思う      どちらとも言えない      あまりそう思わない      そう思わない  
5 ————— 4 ————— 3 ————— 2 ————— 1

質問2 授業の目標・内容を理解できましたか。あてはまるものを1つ選んで下さい。

そう思う      どちらかと言えばそう思う      どちらとも言えない      あまりそう思わない      そう思わない  
5 ————— 4 ————— 3 ————— 2 ————— 1

質問3 教材(テキスト、レジュメなど)は授業の理解に役立ちましたか。あてはまるものを1つ選んで下さい。

そう思う      どちらかと言えばそう思う      どちらとも言えない      あまりそう思わない      そう思わない  
5 ————— 4 ————— 3 ————— 2 ————— 1

質問4 教員はわかりやすい授業をしましたか。あてはまるものを1つ選んで下さい。

そう思う      どちらかと言えばそう思う      どちらとも言えない      あまりそう思わない      そう思わない  
5 ————— 4 ————— 3 ————— 2 ————— 1

質問5 理解できなかった点を自分で調べたり教員に質問したりしましたか。あてはまるものを1つ選んで下さい。

そう思う      どちらかと言えばそう思う      どちらとも言えない      あまりそう思わない      そう思わない  
5 ————— 4 ————— 3 ————— 2 ————— 1

質問6 宿題・予習・復習をするような授業構成と教材(テキスト、レジュメなど)になっていましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

そう思う      どちらかと言えばそう思う      どちらとも言えない      あまりそう思わない      そう思わない  
5 ————— 4 ————— 3 ————— 2 ————— 1

質問7 授業の課題(小テスト、宿題、グループ学習、フィールドワーク等)に積極的に取り組みましたか。あてはまるものを1つ選んで下さい。

そう思う      どちらかと言えばそう思う      どちらとも言えない      あまりそう思わない      そう思わない  
5 ————— 4 ————— 3 ————— 2 ————— 1

質問8 この科目について、1回の授業時間以外に予習や復習のためにどの程度勉強しましたか。あてはまるものを1つ選んでください。ただし、例えば、全15回の授業で、毎回の授業の予習や復習のためにレジュメやテキストを読んだり、見直した時間、授業で課された宿題に取り組んだ時間、授業でわからない事柄をwebで検索したり、図書館で調べたりした時間、友人と授業の内容を話し合ったり、教え合ったりした時間、課題レポートの作成や、定期試験などの勉強をした時間の合計が45時間なら、1回につき3時間勉強したとし、5を選択します。

3時間以上      2時間以上      1時間以上      30分以上      30分未満  
5 ————— 4 ————— 3 ————— 2 ————— 1

質問9 授業全体の満足度はどの程度ですか。あてはまるものを1つ選んで下さい。

満足      やや満足      ふつう      やや不満      不満  
5 ————— 4 ————— 3 ————— 2 ————— 1

質問10 授業はシラバス通りにすすみましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

そう思う      どちらかと言えばそう思う      どちらとも言えない      あまりそう思わない      そう思わない  
5 ————— 4 ————— 3 ————— 2 ————— 1

質問11 この授業に関することを自由に記述して下さい。

以上

## 2018 年度後期経済学部授業評価アンケートの報告

経済学部教務委員

### 1. 実施概要と重点課題

#### (1) 実施概要

授業改善に役立てるために授業評価アンケートを期間中と期末の2回実施する。

- ・ 期間中アンケート：  
（方法）授業期間中の中間時点で担当教員が実施し、集計する。  
（目的）期間中の授業方法の改善。
- ・ 期末アンケート：  
（方法）授業期間後の成績発表時に nfu.jp を用いて学生が回答する。  
（目的）次年度以降の授業改善への活用。
- ・ 担当教員による授業評価報告書の作成：  
期間中アンケートと期末アンケートの結果を踏まえて、担当教員が授業方法等の改善を検討し「授業評価報告書」を作成する。東海事務室は、担当教員が作成した「授業評価報告書」を学生に開示する。

#### (2) 2018 年度授業評価アンケートの重点課題

- ・ 学生の総学修時間の増加への取り組み
- ・ 学習支援を必要とする学生への対応
- ・ 経済学部ディプロマ・ポリシーを踏まえた教育の実践
- ・ 科目概要（シラバス）に合致した授業進行

### 2. 本報告の対象科目

報告対象科目は表1の10科目である。「経済学」、「経済経営のための数学」の2科目は必修科目である。「経営学」、「財政学」、「金融論」、「マクロ経済学」、「ミクロ経済学」、「会計学」、「法律学」、「社会政策」の8科目は、これらの中から4科目を選択して修得することが卒業条件になる必須選択科目である。これらの10科目は、経済学部のコア的な専門科目として位置づけられている。

今回報告するのは、後期開講および通年開講科目の4科目で、各科目の回答数は表1のとおりである。

表1 報告の対象科目と回答数

2018年度【前期開講科目】				2018年度【後期・通年開講科目】			
科目名	履修者数	回答数	未回答数	科目名	履修者数	回答数	未回答数
1 経済経営のための数学	265	252	13	1 財政学	134	122	12
2 経済学	264	249	15	2 ミクロ経済学	171	154	17
3 経営学	121	117	4	3 会計学	93	80	13
4 金融論	115	109	6	4 社会政策	61	59	2
5 マクロ経済学	159	146	13				
6 法律学	82	76	6				

### 3. 授業評価アンケートの集計結果

#### 3-1. 重点課題とアンケート質問項目の関係

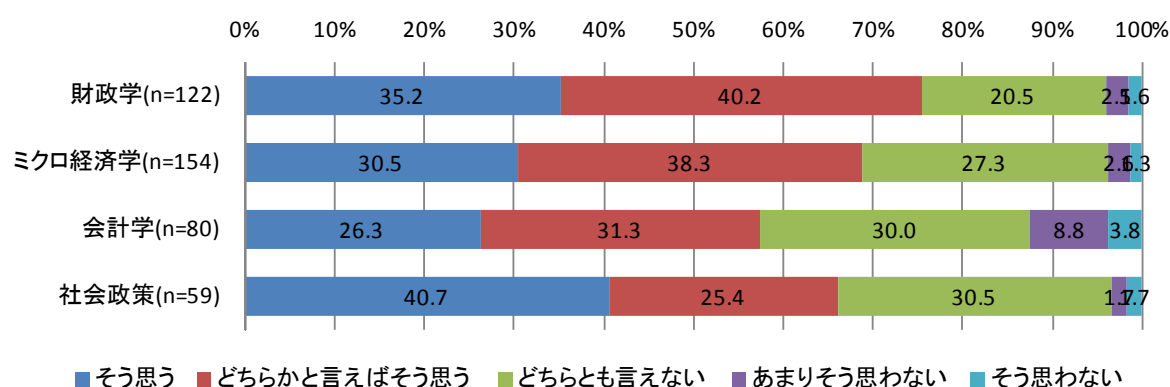
- (1) 学生の総学修時間を増加させる ⇒ (期末アンケート質問 6、8)
- (2) 学習支援を必要とする学生への対応 ⇒ (期末アンケート質問 5)
- (3) 経済学部ディプロマ・ポリシーを踏まえた教育の実践 ⇒ (教員の報告書より)
- (4) 科目概要に合致した授業進行 ⇒ (期末アンケート質問 10)

#### 3-2. 重点課題別の集計結果

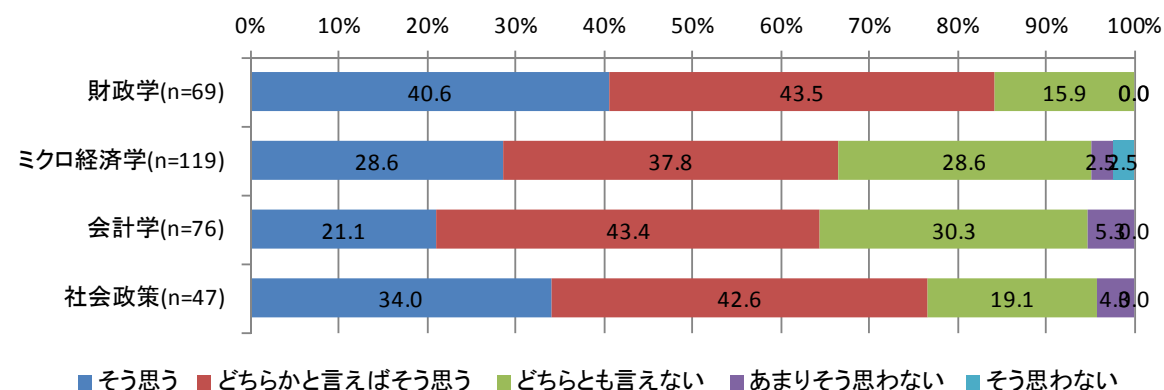
##### (1) 学生の総学修時間を増加させる

【質問 6】宿題・予習・復習をするような授業構成と教材（テキスト・レジュメなど）になっていましたか。

図1 質問6 の回答結果(nは回答数)



(参考:2017年度の結果)



#### ①結果の概要

予習復習できる教材かの質問に「そう思う」または「どちらかと言えばそう思う」と回答した学生は、いずれの科目も 50%を超える。2017 年度と 2018 年度を比較しても大きな変化は認められない。

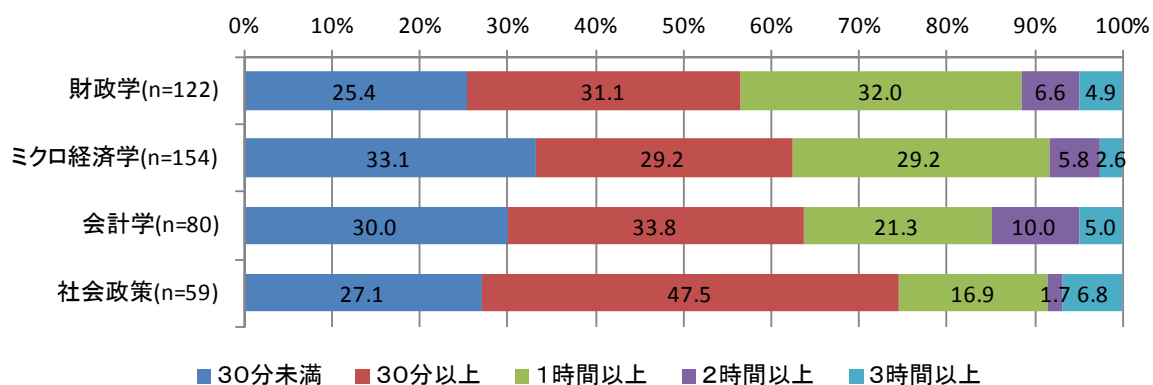
#### ②授業評価報告書に記載された教員の評価または取り組み

- ・授業では毎回宿題を課しており、その課題から定期試験に出題するので授業外での学修を行う環境作りはしている。
- ・毎回、授業の開始時に、前回の授業のポイントを指摘しまとめを行うとともに、授業の最後に、当該授業の内容のポイントのまとめを行い当該内容の理解を深めることに加え、次の授業のおよそのポイントをあらかじめ指摘しておくことで、学生が予習・復習を

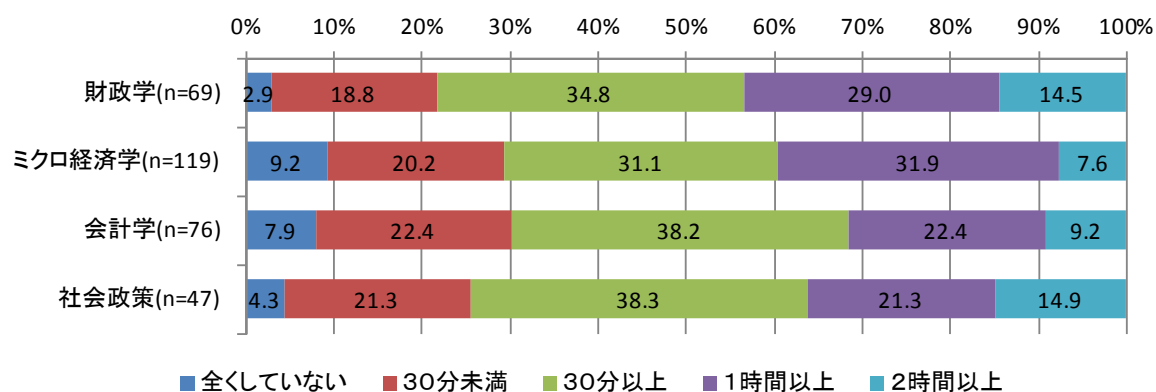
行いやすくなるよう配慮した。

【質問 8】 この科目について、1 回の授業時間以外に予習や復習のためにどの程度勉強しましたか。

図2 質問8 の回答結果 (nは回答数)



(参考: 2017年度の結果)



### ①結果の概要

予習復習の学習時間が1時間未満の学生は、いずれの科目も50%以上を占める。3時間以上の学生は10%未満である。2017年度と2018年度では選択肢が異なるため注意が必要であるが、2つの年次で比較すると大きな変化はみられない。

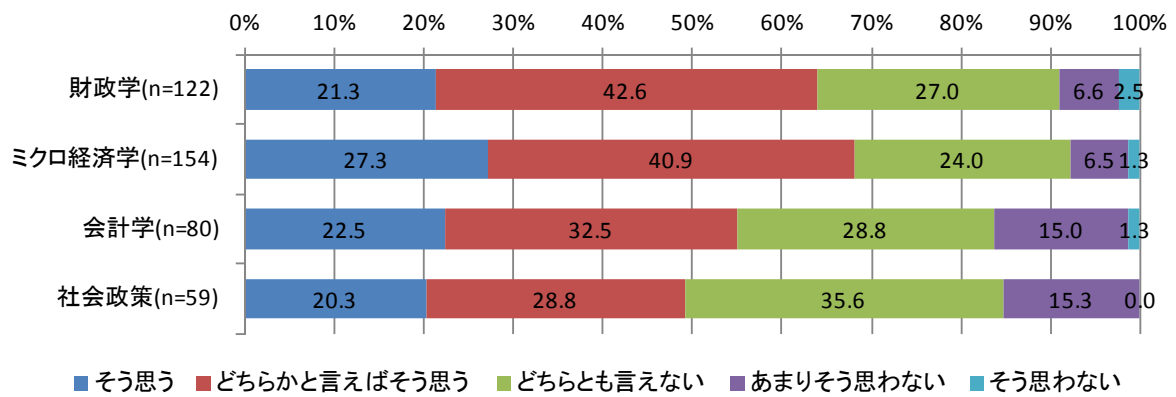
### ②授業評価報告書に記載された教員の評価または取り組み

- ・質問 6 宿題・予習・復習をするような授業構成と教材については、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」が多数だったが、質問 8 授業外勉強時間については「30分未満」が多かった。一方、「3時間以上」もいた。宿題をもっと課すなど対策を考えたい。

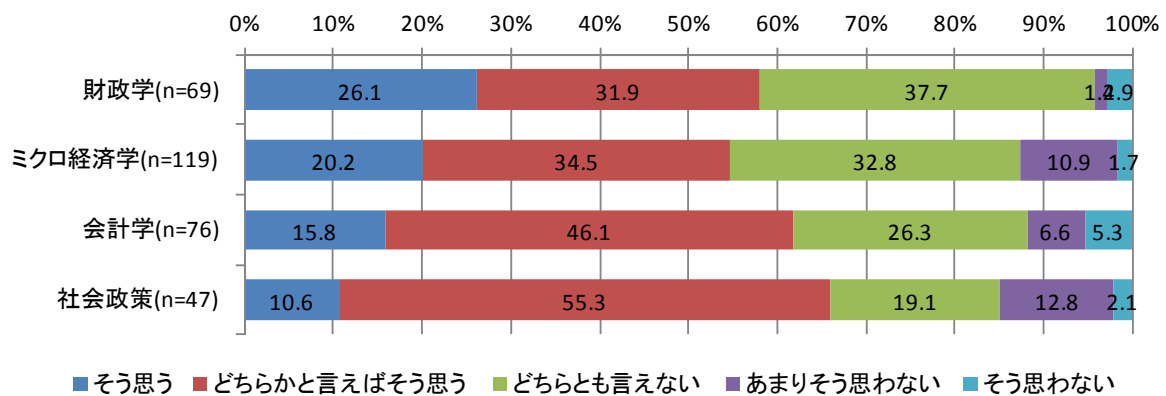
### (2) 学習支援を必要とする学生への対応

【質問 5】 理解できなかった点を自分で調べたり教員に質問したりしましたか。

図3 質問5 の回答結果 (nは回答数)



(参考: 2017年度の結果)



### ①結果の概要

理解できない点を調べたかあるいは質問したかを問う質問5に「あまりそう思わない」または「そう思わない」と回答した学生は7.8~16.3%を占める。2017年度と比較すると、「そう思う」の構成比がいくつかの科目で増加するなどの変化が認められるが、全体として目立った変化はみられない。

### ②授業評価報告書に記載された教員の評価または取り組み

- ・受講者数がとても多く、質問が難しい環境ではあるが、教室を巡回して質問を求めるなどの努力が必要。また、レジュメを使ってほしいという意見もあった。
- ・例えば「宿題・予習・復習をするような授業構成と教材（テキスト、レジュメなど）になっていましたか。」という質問事項に対し、回答を行った学生のうち、多くの学生が「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」という意思表示をしており、その意味では、学習支援に対する教員の取り組みについて一定の評価をいただけたものと考えている。
- ・中間アンケートで理解不足だと感じる学生は105名中20名であった。期末アンケートでは自分から質問しようとする学生は134名中11名であった。毎回の授業でミニッツレポートを提出させ、そこに質問や分からないことを書いて、答えるということで、質問する敷居を低くする取り組みが成果を出していると思う。

### (3) 経済学部ディプロマ・ポリシーを踏まえた教育の実践

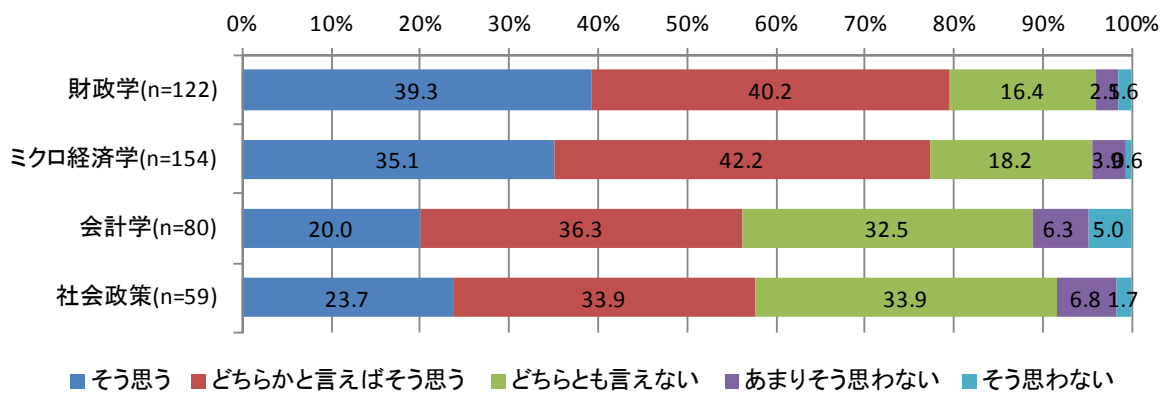
授業評価報告書を見ると、選択したディプロマ・ポリシーに対応するよう授業が実践されていることがわかる。回答の具体的内容は以下のとおりである。

- ・経済 DP③の達成のために、財政政策の背景にある経済理論を理解できるよう、近年の財政政策を紹介し、その背景にある理論を説明した。
- ・②⑤の達成を目指して、社会で生きる上での基礎的な考え方を身につける授業をした。「今後の社会で活用したい」との回答を得た。⑧⑩の達成を目指して、考えを図式化して表現することができることを意思決定の方法・テクニックの中の基本的な方針として据え、その目標が達成できるように指導した。
- ・②③④ができるようにレポートを課した。
- ・ディプロマ・ポリシー③及び⑦の達成をめざして、「医療・福祉」、「経営(マネジメント)」の専門知識をもつことで、医療・福祉領域における経営を複眼的にとらえる力を身につける」という考え方を授業に反映させた。

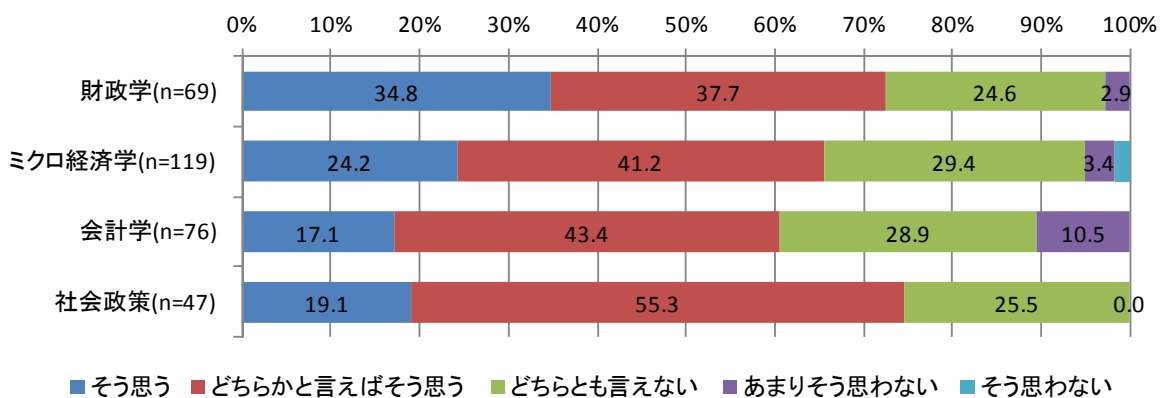
(4) 科目概要(シラバス)に合致した授業進行について

【質問10】授業はシラバス通りにすすみましたか。

図4 質問10の回答結果(nは回答数)



(参考:2017年度の結果)



①結果の概要

授業はシラバス通りに進んだかの質問に「あまりそう思わない」または「そう思わない」と回答した学生は4.1~11.3%である。2017年度と比較すると、「そう思う」はすべての科目で増加した。

②授業評価報告書に記載された教員の評価または取り組み

- ・ほとんどが肯定的に答えた。問題なしと判断する。
- ・シラバスどおりの授業進行ができたと考える。

#### 4. 上記以外の科目を含めた授業評価アンケートおよび報告書の取りまとめ

##### 4-1 取りまとめた授業評価報告書の科目

実技・演習系科目を除く講義科目のうち

経済学部専任教員担当分 29 科目、30 クラス（6 月 12 日までに提出された報告書）

##### 4-2. 重点課題別の報告

###### （1）学生の総学修時間を増加させる

アンケートおよび報告書の記述から、宿題・予習・復習をするような授業構成と教材（テキスト・レジュメなど）になるよう授業改善を進めていることがわかる。

しかしながら、学生の予習・復習時間をみると、3 時間以上と回答する学生がいる一方で、1 時間未満の学生が過半数を占める。予習・復習時間が短い学生を減らすための授業改善が今後も必要である。

###### （2）学習支援を必要とする学生への対応

理解できない点を調べたかあるいは質問したかを問う質問 5 に「あまりそう思わない」または「そう思わない」と回答した学生は、各科目 20% 未満ではあるが存在する。

この対応として実践されているものをあげると、理解できていない箇所を把握するための小テストの活用、スタディサポートセンターでの個別指導、学生が提出した質問票に対する解説の提示等である。

###### （3）経済学部ディプロマ・ポリシーを踏まえた教育の実践

教育目標を達成するための適切な方法の模索など、ディプロマ・ポリシーを踏まえた教育がすべての科目において実践されていた。

授業評価報告書には、主として、選択したディプロマ・ポリシーと実践した授業内容との関係が記述されている。具体的には、DP③「現代の経済や経営あるいは医療や福祉の課題について説明できる」、DP④「社会の構成員として生活することに必要な社会的規範や組織運営に関する基礎知識を説明できる」については、地域医療構想や地域包括ケアシステムといった今後の医療福祉の基本を抑えながら教育を実践した、などである。

###### （4）科目概要に合致した授業進行

アンケートの結果から、概ね科目概要どおりに授業が実施されていることを確認できる。

また、授業評価報告書によると、実習等のために欠席者が多くシラバスどおりにできない回があったと報告する科目があるが、ほとんどの科目で科目概要どおりに授業が実施されていた。